

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 7 月 28 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2026 年 5 月 29 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	マンチェスター大学(日本語名) University of Manchester(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	1 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文科学部 現地言語での名称: Faculty of Humanities ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～1 月下旬 2 学期: 2 月上旬～7 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	4 万人
創立年	1824 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (GBP・ポンド) (1 現地通貨 = 215 円)	B 日本円	備考
授業料	0 ￡	円	交換型のため留学先での授業料なし
宿舍費	5253 ￡	円	内 400 ￡ は前払い金
食費	200 ￡	円	
図書費	0 ￡	円	教材購入なし
学用品費	5 ￡	円	ほぼなし
携帯・インターネット費	90 ￡	円	
現地交通費	0 ￡	円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	180 ￡	円	
旅費(留学中)	2800 ￡	円	
被服費	200 ￡	円	
医療費	0 ￡	円	
保険費		246,175 円	形態:
渡航旅費		199,950 円	
ビザ申請費		108,575 円	
雑費	400 ￡	86,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	9,128 ￡ (= 1,962,520 円)	640,700 円	
総計(A+B) ※円		2,603,220 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：マンチェスター 経由地：ドーハ

復路 出発地：Gatwick(ロンドン) 目的地：成田 経由地：上海

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：カタール航空 料金：90,000 円

復路 航空会社：中国東方航空 料金：110,000 円 ∴合計：200,000 円

航空券購入方法

☒ 旅行代理店(店名：HIS)

☒ インターネット(サイト名：skyscanner)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Whitworth Park) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

マンチェスター大学指定のサイト

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

安くてキャンパスに近い。イギリス人がたくさん。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 友人、大学スタッフ)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

スマホの盗難。警察は対応してくれないのでとにかく友人と大学スタッフを頼りにした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本ずっと寮での wifi 環境は悪かった。最後の 2 か月くらいは修繕を経て接続がよかった。大学キャンパス内は基本どこでも接続が良い。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開設し、Wise という送金ツールを用いて自分の日本の銀行口座から送金を行った。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

マスク、質の良い生理用品

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
100 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 通年で 100~120 単位	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Key Issues in Education	教育学の主要課題
科目設置学部・研究科	人文科学部
履修期間	秋・春(通年)
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・セミナー (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	
授業内容	教育制度や教育格差、多様性、教育政策など現代教育の課題を学ぶ。
試験・課題等	個人 essay、グループ essay
感想を自由記入	教育を多角的な視点から考えることができ、理解が深まった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Fundamentals of Technological Change		技術革新の基礎
科目設置学部・研究科	人文科学部	
履修期間	春学期	
単位数	10	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	技術の発展が社会・経済・産業に与える影響やイノベーションについて学ぶ。	
試験・課題等	グループレポート	
感想を自由記入	技術と社会の関係を幅広く理解でき、興味深かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Psychology		心理学基礎
科目設置学部・研究科	人文科学部	
履修期間	秋学期	
単位数	10	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(ディスカッションを含む)(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	人間の行動や認知、発達、学習、社会心理学など心理学の基礎を学ぶ。	
試験・課題等	個人レポート	
感想を自由記入	身近な事例が多く、日常生活にも役立つ内容だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Exploring Enterprise		起業入門	
科目設置学部・研究科	人文科学部		
履修期間	秋学期		
単位数	10		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	起業や企業活動の基礎、ビジネスアイデアの創出や事業化について学ぶ。		
試験・課題等	グループレポート		
感想を自由記入	起業家精神や課題解決の考え方を学ぶ良い機会になった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Entrepreneurial Skills		起業家スキル	
科目設置学部・研究科	人文科学部		
履修期間	春学期		
単位数	10		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	プレゼンテーション、チームワーク、リーダーシップなど起業に必要な実践的スキルを身につける。		
試験・課題等	個人レポート		
感想を自由記入	実践的な活動が多く、コミュニケーション力が向上した。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Getting Personal: Intimacy and Connectedness in Everyday Life		親密性と日常生活におけるつながり
科目設置学部・研究科	人文科学部	
履修期間	春学期	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	家族、友人、恋愛、人間関係など、現代社会における親密性について社会学的に学ぶ。	
試験・課題等	個人レポート、ペアプレゼンテーション、期末筆記試験	
感想を自由記入	身近なテーマを学問的に考えることができ、新しい視点が得られた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
English Word and Sentence Structure		英語の語・文構造
科目設置学部・研究科	人文科学部	
履修期間	秋学期	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	英語の語形成や文法、統語構造など言語学の観点から英語の仕組みを学ぶ。	
試験・課題等	個人レポート、オンライン期末試験	
感想を自由記入	英語の構造への理解が深まり、英語学習にも役立った。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ、CFN

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

就職活動において商社、デベロッパー、メーカーを志望度の高い業界としている。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

何年次に留学に行くかに寄るかと思いますが、就職活動を不安に思い、留学を断念する必要はありません。留学に行ったからこそ得られた情報やコネクションも多くあると思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	語学試験の勉強
	8 月 ～ 9 月	留学の情報収集
	10 月 ～ 12 月	学内審査
留学開始年	1 月 ～ 3 月	情報収集
	4 月 ～ 7 月	出願・ビザ申請・寮の申請・航空券の購入
	8 月 ～ 9 月	履修登録・渡航
	10 月 ～ 12 月	期末試験・レポート
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	2 学期開始
	4 月 ～ 7 月	期末試験・レポート・帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がイギリスを留学先の国として選択した理由は、日本人としてアメリカ英語での教育に慣れているからこそ、あえて不慣れなイギリス英語の環境に身を置いてみようと考えたからです。中でもマンチェスター大学は学生数、授業の豊富さ、街自体の魅力などの観点から留学していて絶対に飽きることのない渡航先だと思います。卒業単位数のこと、就職活動のこと、様々不安に思うことはあるかと思いますが、社会に出る前に、学生として留学に行くことに意味があると思います。迷ったら一歩踏み出してみしてほしいです！